

保護者等からの事業所評価の集計結果

公表								
事業所名		てらびあぽけっと館林教室						
公表日		令和7年 12月 1日						
利用児童数		46人						
回収数 41								
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	40	0	0	1	・集団と個別とで活動できるスペースが十分ある。 ・ちょうどいい広さ、スペースだと思う。 ・個室と大部屋がそろっており活動しやすいと思う	スペースはフロア(約20畳)と個室4つを確保しております。フロアでは集団活動と遊び、個室では個別プログラムを行えるように、環境作りをしています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	40	1	0	0	・一対一で手厚く対応している。 ・マンツーマンでみて貰えるのでありがたい。 ・玄関に職員の写真が貼ってあり、名前や資格も分かりやすく安心できる。	常勤が6人、非常勤が2人います。常に5人以上の職員を配置していますので、安心してお子様を預けていただけるように努めています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	40	0	0	1	・危ないものには△マークが付いていてわかりやすい。 ・トイレなどの設備を見てないため、わからない。 ・目で見てすぐに分かるような工夫がされていると思う。	お子様の動線を考えた環境配置になっています。△マークだけでなく、△マークを提示することで「危険」の意識をもてるように支援しています。ご希望があれば、いつでも事業所内の見学ができます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	40	1	0	0	・掃除が行き届き、いつもきれいになっている。 ・きれいに整頓されている。 ・玩具や道具など片付けられていてすごいなと感じている。	空気清浄機を使用し、毎日掃除もしています。今後も清潔面や衛生面も気を付けています。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	39	1	0	1	・課題があるとすぐに支援の中に入ってくれる。 ・苦手なことも本人に分かるように工夫してくれる。 ・見学の際先生が少し早口だった。 ・とても理解してくれて嬉しい。支援も素晴らしい。 ・困り感を相談するとすぐに支援に取りてくれる。	支援計画に記載されてない内容でも課題を見つかったときは、すぐに対応しています。基本的に言葉は「ゆっくり」話すように意識していますが、保護者様が不安に感じてしまったとのことなので、今後は一人一人の指導員が意識するよう、再確認しました。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	40	0	0	1	・公表以上にやってくれる。 ・本人に合っていると感じている。 ・個別と集団での療育をしっかりやってくれている。	今後も丁寧に対応し、お子様の支援に合ったプログラムを提供していきます。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	41	0	0	0	・とても細かく作成してくれる。 ・一緒に悩んでくれるのがとてもありがたい。 ・満足している計画になっている。 ・時間をかけてモニタリングした後、作成してくれる。作成後、毎回保護者に内容を確認してくれるのも安心している。	今後もお子様、保護者様に寄り添いながら、課題見つけをし、丁寧に支援計画を作成していきます。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	40	0	0	1	・具体的に設定されていると思う。	今後もお子様が必要な支援を受けられるよう、に、設定、提示していきます。また、ご質問があった場合には、丁寧に対応していきます。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	41	0	0	0	・すぐに支援に取り入れて行ってくれる。 ・こちらの要望に合わせた支援をしてくれる。 ・満足している。	児童発達支援を中心とした個々の支援を見直し、適切な支援を提供できるように努めています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	38	0	0	3	・色々なことを工夫して支援してくれたおかげで、できることが増え、ありがたい。 ・子どもが飽きないよう、工夫している。 ・プログラムは固定しているが毎回変化があるので子どもは楽しめているように感じる。 ・成長につながるように日々接してくれている。	月に1度の小集団での製作活動、夏場のフル、個室でのソーシャルセラピー、その他にもお子様が楽しめるような工夫をしています。リズムウォーキー、はじめの会、個室などの内容を工夫して、楽しみながら療育できるよう努めています。
	11	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	41	0	0	0	・すごく丁寧に説明してくれた。	今後も丁寧に説明をしていきます。
保護者への説明等	12	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	41	0	0	0	・個別に時間を作っていただき、丁寧な説明を受けた。	今後も丁寧にモニタリングを進め、お子様の課題に沿った計画書を作成していきます。
	13	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレン特・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	37	3	0	1	・家族支援で気付かされることが多々あった。 ・毎月療育が見学できるので楽しみ。 ・家族会議や動画視聴その他にも、先輩家族の話を聞く機会があり参考になった。 ・支援方法についてよく理解できた。	月に数回の動画視聴等をしています。市からの研修等のご案内はしています。今年は保護者会等が開催できなかったので、来年度の課題として取り組んでいます。
	14	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができると思いますか。	36	4	0	1	・LINEでの写真、連絡帳で様子がよく伝わり楽しみにして見ている。 ・お迎えの時に、その日あったことを教えてくれるので様子が分かる。 ・送迎のタイミングだけだと、ほとんど先生と話す時間がいたためどちらともいえない。	今後もお子様の様子を情報共有しながら、支援をしていきます。 また、相談予約や家族支援、モニタリング等の時間を活用して話す時間を確保していくければと考えています。
	15	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	36	4	0	1	・要望をすると、LINEや直接の相談等すぐに対応してくれる。 ・管理者から個別に連絡があり気にかけてくれるので相談しやすい。 ・いつも話を聞いてくれるので気持ちが楽になる。 ・相談がいつでもできる環境でとてもありがとうございます。	毎月管理者が10件以上の相談を受けたり、3件以上の園訪問をしたりしています。 保護者様とお子様の様子を共有しながら、今後も適切な支援をしていきます。 また、相談を受けることができる職員育成にも努めています。
	16	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	39	1	0	1	いつも笑顔で対応し、子どものことも可愛がってくれるので嬉しい。	今後も声をかけやすい雰囲気作りを心がけ、共感的に支援をしていけるよう努めています。
	17	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	37	3	0	1	・心配事があった時はすぐに時間を作っていたき相談することができた。 ・迅速に対応してくれる。 ・少しの悩みだと、わざわざ時間を作ってもらおうのが申し訳なく感じてしまう。 ・すぐに園に行って様子を見てくれたりと、いつも迅速に対応してくれる。 ・セラピーノートの「家庭での様子」を記入した際、しばらく見られていなかったので不安だった。	今後も迅速、適切に対応していきます。また相談できる職員を育成し、ニーズに応えられるように努めます。 セラピーノートの「家庭での様子」は目を通して押印しています。今回押印がしばらくなかったとのことで、大変申訳ありませんでした。今後は見落とすことのないようになります。
	18	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	40	1	0	0	毎回、送迎時や連絡帳、LINEでの写真等で様子を知ることができる。	意思疎通を大切にしながら、療育を進めています。

	19	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	40	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の通信を見るのが楽しみ。玄関にもある。 ・LINEで通信を送ってくれるようになり、見やすくなった。 ・自己評価の結果等は玄関にある。 	毎月2つの事業所から出ている通信を保護者様LINEに送信しています。児童発達支援と放課後等でサービスの情報を伝えられるよう努めています。
		20 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	40	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・通信等の写真は人物が特定できないよう、配慮している。 ・契約時に説明を受けた。 	書類は鍵のかかる書庫に保管し、写真等は本人が特定できないよう配慮しています。
非常時等の対応	21	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	36	2	0	3	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に見たことはないが、通信に写真等が掲載されているので、いると思う。 ・通信で見ている。 ・契約時にもするという話を聞いた。 ・駐車場で嘔吐した時も適切に対応してくれた。 	毎月職員は訓練をしています。消防署とのやりとりをしながら行う総合避難訓練も年に2回しています。不審者対応訓練、感染症対応訓練等、事業所として必要な訓練はしています。通信でもお知らせしています。
	22	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	39	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ケリラ豪雨の時は「急がず安全を優先してください」とLINEが入り、慌てずに迎えに行くことができたので助かった。 ・送迎が遅れてしまうことを電話しても、快く受け入れてくれて安心した。 	管理者が定期的に室内、室外を点検しています。安全面について職員全員で共有し、日頃から意識しながら改善すべきところはしています。急な事案が起きたときは、管理者から安全最優先での指示を出して安心して通所できるよう努めています。
	23	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	37	4	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・小さなことでも必ず報告してくれるで安心している。 ・怪我をしたことがないので、わからない。 	どんな小さなのがでも必ず管理者へ報告がいき、職員が適切な手当をしています。また、保護者様にも必ずお伝えしています。教室に来た通りの姿で保護者様に引き渡すことを遵守しています。怪我や事故がないことが一番なので、安心して過ごせるように今後も努めています。
満足度	24	こどもは安心感をもって通所していますか。	40	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・お昼寝のあと等はぐぐぐしてしまう。 ・疲労や体調で行き渋りがあるが、行ってしまうと帰りは笑顔になる。 ・いやいやをしても受け入れてもらえるという安心感があるようだ。 ・いつもあたたかく見守っていただき感謝。 ・送られてきた写真を見ると、いつも笑顔で楽しが伝わる。 ・迎えに行った時の子どもの表情から、楽しかった様子が分かる。親としても安心。 	体調や園行事等、お子様の様子を把握、考慮しながら、楽しく過ごせるように努めています。
	25	こどもは通所を楽しみにしていますか。	36	3	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・行き渋りがあるて先生達に明るく迎えてもらえるので、「行ってきます」と切符替えられている。 ・楽しみに通っている。 ・まだしゃべれないでの、わからない。 ・楽しそうに通っていて、迎えに行くとニコニコしている。 ・まだ慣れないせいか、朝「行きたくない」と言うこともある。 ・最近はおばあちゃんと過ごしたいようで行き渋ることがある。 	楽しく学べるように、今後も環境や支援内容について工夫していきます。
	26	事業所の支援に満足していますか。	41	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・支援していただきてから3年以上経ち、心の支えになっている。 ・いつも寄り添って丁寧な支援をしていただき感謝している。子どものできない事よりもできた事に注目して声かけをしてくれる先生方は、本当に素晴らしい、自分も見習いたい。 ・大変満足している。 ・毎日本本当に感謝。いつもありがとうございます。 	お子様を含むご家族の支援についても、継続して行っています。 ご利用してくださるすべての方が、満足していただけるよう尽力していきます。

事業所における自己評価結果

公表					
事業所名		てらぴあぽけっと館林教室			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	・リズムウォーカーの際、できるだけ広く安全にできるように子供用の椅子は一度個室へしまうようにしている。	・今後も継続していく。
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	・職員1人当たりの子どもは最大2人(ソーシャルセラピー)としているので、無理なく療育が進められている。	・職員欠勤時も十分な人員確保ができるよう配置をしていく。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	・フロアの真ん中にある大きなホワイトボードに「クールの流れ」が文字とイラストで掲示されている。子どもの実態に応じては、個別にやるこどリストやシールシートを作成し、提示している。 ・段差のないフラットな床である。	・保護者様に職員の名前と顔が分かるように、玄関に掲示している。新しく入った職員の顔写真を載せるのが遅くなってしまったので、早めに掲示する。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	・毎日全部屋、掃除機と水拭きをしている。 ・来所した子どもたちは、手洗いと消毒、検温を徹底しており、記録もしている。 ・リズムウォーク時、危険の無いように物の位置を考えている。	・今後も継続していく。
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0	・毎日の振り返りだけでなく、毎月の職員会議でも個人の月目標、教室としての月目標を設定している。	・今後も継続していく。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・アンケートの実施はもちろんのこと、日々保護者との会話の中や相談等でキャッチした意見や困りごとは迅速に対応している。	・今後も継続していく。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	0	・特に外部評価を行っていない。県や市は、相談をしたり、必要な連絡等でやりとりをしている。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	・メンター研修(若手)、キャリア研修(ベテラン)、年末全体研修、緊急対応研修などを実施している。	・今後も研修の機会を作り、職員の質の向上に努める。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0		・今後も継続していく。
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0	・個別支援と小集団活動を軸としてやっている療育の教室なので、来所したら毎回必ずどちらもやっている。	・今後も継続していく。
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	・児童発達支援計画によって子ども一人一人の支援計画にそつた「指示書」が作成され、指導員はそれをもとにプログラムを立てて療育をしている。	・今後も継続していく。
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	・ABC分析シートや行動分析シートを活用し、子どもの行動を把握している。	・今後も継続、活用していく。 ・行動分析シートをさらに活用していく。
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に	5	0	・5領域を取り入れ、より子どもの実態を細かく把握するようにしている。また、保護者のお聞き取りも丁寧に行なうことで、保護者の思いや願いも大切にしている。	・今後も必要な項目を選択、設定していく。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	・カンファレンスを丁寧に実施している。 ・会議や朝礼、研修等でプログラムについて話し合いが行われている。	・今後も継続していく。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	・支援計画を振り返ったり、子ども達の反応や実態を観察したりして、いろいろなプログラムが行われている。	・今後も継続していく。
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	・個別支援と小集団活動を軸としてやっている療育の教室なので、来所したら毎回必ずどちらもやっている。	・今後も継続していく。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	・毎日朝礼を実施している。その日の予定や注意事項、子どもに関する打合せも行っている。	・今後も継続していく。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	・終礼では振り返りの中でその日に担当した子どもの様子や内容を共有している。	・今後も継続していく。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	・セラピーノートにその日の療育内容や様子を書き、保護者へも共有している。また、「赤ファイル」を活用し、子ども一人ひとりに対してプログラムのチェックをついている。	・今後も継続していく。
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	・半年に一度、保護者様に教室へ来所していたとき、必ず実施している。	・今後も継続していく。

関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	・管理者兼児発管が参画している。	・今後も適切な担当者が参画していく。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	・相談事業所、園、小学校、教育委員会など必要があれば連携をして移行支援を実施する。	・今後も保護者様のご希望にこたえ、関係機関での連携がもてるようになります。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	・相談事業所、園、小学校、教育委員会など必要があれば連携をして移行支援を実施する。	・今後も保護者様のご希望にこたえ、関係機関での連携がもてるようになります。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	・実施している。	・学校からの要望があれば、保護者の許可を得てから積極的に支援内容についての情報を共有していく。
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	0	・併用してお子さんがいた場合、保護者からの要望や許可を前提に連携を取っている。	・要望や必要に応じて保護者様にご提案する。積極的に連携をもっていきたい。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会があるか。	0	5	・療育の内容上、園などの交流する機会はない。	・保護者様からの要望があったときは前向きに検討していく。
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	・セラピーノートだけでなく、LINEや電話、面談を通して保護者とお子様の様子について共有したり、相談したりしている。	・保護者様から発信がなかった場合はこちらから声をかけて話しやすい雰囲気を作るよう心がけている。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0	・動画視聴（本部からのセラピーモード）と連して、お子様との関わり方やセラピーモードの基本的な内容、就学に向けてなど家族支援を行っている。 ・管理者兼児発管による相談においてもペアレントを実施している。	・今後も丁寧に支援を行っていく。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	・契約時に説明している。分からぬところがないか途中で声掛けをしたり、保護者様の反応をよく観察したりしながら進めている。	・今後も継続していく。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0	・モニタリングで丁寧にお聞き取りを行い、その場でおおまかな目標を一緒に決めるようにしている。そして支援計画が作成出来たら、保護者へ確認していただき、修正点や質問があるかを聞いている。最後にサインをいただく。	・今後も継続していく。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	・管理者兼児発管が相談依頼が来るので、適切に応じ援助と支援を行っている。	・今後も保護者様の支援に努めていく。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	0	・保護者会を開いている。保護者様の負担になりすぎないように、希望制にしている。	・保護者交流会については好評だったのと、次回の計画をしたい。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	・相談や申し入れがあった場合は、すぐに管理者へ報告をし、管理者から職員へ指示をおろすようになっている。また、保護者様に対しては管理者が適切かつ迅速に対応している。	・去年からの継続になりますが、管理者兼児発管と同等の知識をもつ人材を育成し、相談業務にあたっていけるように努めています。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0	・毎月「てらひあ通信」を発行し、全員に配付している。	・楽しみにしてくれている保護者様のために今後も継続していきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	・職員には入職の際に誓約書を書いてもらっている。また、日々の個人情報取扱いに関しても一人ひとり最新の注意をはらっている。	・今後の厳重に管理、取り扱いをしていく。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	・子ども達に関しては、視覚支援を行ったり環境作りを意識したりしている。	・意思疎通や情報伝達に不備があった場合は、すみやかに対処します。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	0	・2時間ずつのクールで療育を行っている教室なので行事を行うことが難しい。	・ボランティア活動を希望する方がいたので、個人情報に配慮しながら積極的に受け入れてきた。開かれた事業所を目指します。
非常時等の	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	・マニュアルは策定しております。発生を予想して、避難訓練や不審者対応訓練等を実施しました。	・非常時の準備等を含め、今後も訓練を実施していきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	・非常災害に備えて、非常食や飲み物を準備してある。トイレには水を入れたペットボトルを準備し、断水にも備えている。	・消防署と連携を取りながら訓練を実施しています。2階の放デイと合同で訓練を行っていきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	0	・契約時に保護者からお聞き取りをしている。保護者様と対応方法を共有し、万全な体制を整えている。	・お子様の状況で変化があったときは、すぐに連絡をいただくように保護者様に再度お願いしている。 ・事業所内に准看護師の資格をもった者がいる。緊急時はその職員を中心に対応することになっている。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	・基本的に食事はしないので、対応することはない。	・お菓子などを食べる状況になったとき、事前に保護者に確認し、適切に対応していく。

対応	49	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	・悪天候の際には、送迎について保護者様にラインでお知らせしている。	
	50	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	・毎月各自がケアレスミスを記入して管理者に提出している。事業所内で共有したほうがよい事案は、終礼で報告して周知している。	・一人一人の意識が高まるように、各自記入している。事業所全体のミスが減るように努めしていく。
	51	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	・年に2回不適切な対応についてのアンケートを実施している。 ・虐待についての認識の研修を管理者主導のもと行っている。	・今後も意識をもってお子様の療育に取り組めるように研修等を継続していく。
	52	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0	・拘束は行っていません。拘束が必要なお子様もいません。	・今後必要があるときは、保護者様と相談をして方法と一緒に考えていく。

事業所における自己評価総括表

公表				
○事業所名	てらびあぽけっと館林教室			
○保護者評価実施期間	令和7年 10月 6日 ~ 令和7年 10月 17日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	46名	(回答者数)	41名
○従業者評価実施期間	令和7年 10月 6日 ~ 令和7年 10月 17日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 11月 4日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者支援	話しやすい雰囲気作り、声掛け	保護者との信頼関係構築 相談の仕方、話し方の研修
2	療育内容(ABA)	個別、小集団、ソーシャルセラピーの強化	DTTプログラムの研修 療育内容の研修(セラピー研修) ソーシャルセラピーの充実
3	外部との連携	積極的な園訪問、相談事業所との共同モニタリング、教育委員会との就学連携	今後も積極的に連携をしていく。
	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者交流会や保護者間の連携	毎年2回くらい保護者交流会を実施している。	利用人数が多いので、何回かに分けて交流できる場を作りたい。
2	障害のない子ども達と関わる機会がない	療育の内容上、園などと交流する機会がない	保護者からの要望があった時は前向きに検討していきたい。
3	代表以外の保護者対応	経験や知識不足	職員育成にさらに力を入れていく。